

科目責任者 山崎 紀子 (実務教育部門 実務実習担当)

■ 教育目的

コミュニティファーマシー（地域薬局）のあり方を考えていく上で、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、セルフメディケーションなどに関する基本的知識と、それらを活用するための基本的態度を習得する。調剤業務においては処方上の問題点を指摘し疑義照会できるようになるために、用法・用量、禁忌、相互作用などを含む調剤上注意すべき事項を習得する。また、患者の安全確保と QOL に貢献できるようになるために、服薬指導などに関する基本的知識、技能、態度を習得する。

■ 学習到達目標

1. 地域薬局の役割を説明できる。
2. 医薬分業のしくみと意義を説明できる。
3. 薬局の業務運営を概説できる。
4. 地域住民のセルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を説明する。
5. 不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。
6. 服薬指導上の注意点を列挙できる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：薬局薬剤師の業務について調べておくこと

復習：学んだ知識をもって薬剤師の仕事を観察すること

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	地域薬局の役割（1）	地域貢献、学校薬剤師、地域連携	C18（3）-1-1、3 S102
2	医薬分業	医薬分業のしくみと意義、薬局の法的位置づけ、かかりつけ薬局	C18（3）-2-1～3 S107
3	薬局の業務運営（1）	薬局業務運営ガイドライン、流通のしくみ	C18（3）-3-2、3
4～5	疑義照会	不適切な処方せんと疑義照会（薬名、規格単位、剤形、分量、用法、相互作用、禁忌等）	S301、303、305 S202、204
6	服薬指導の基本	患者の基本的権利、自己決定権、インフォームドコンセント、守秘義務、服薬指導上の注意点、注意すべき生活指導項目、患者接遇、薬局における調剤業務の流れ、薬歴管理	S601、602、604
7～8	薬局の業務運営（2）	医療保険制度、調剤報酬、保険薬剤師療養担当規則、保険医療療養担当規則	C18（3）-3-1、4
9～10	地域薬局の役割（2）	在宅医療、居宅介護	C18（3）-1-2
11～12	セルフメディケーション	セルフメディケーション、一般用医薬品、サプリメント、保健機能食品等	C18（3）-4-1～3
13	服薬指導（1）	服薬指導の実際（医療用医薬品）	S601、602、604
14	服薬指導（2）	服薬指導の実際（一般用医薬品）	S601、602、604
15	総合演習	まとめ	

■ 授業分担者

No.1～2、4～6、15：山崎 紀子、No.3、7～8、13～14：菅野 敦之、No.9～12：宮沢 伸介

■ 成績評価方法

期末試験の成績 100 % で評価する。

■ 参考書

『調剤学総論 第11版』堀岡 正義 著（南山堂）

『保険薬局基礎のキソ』菅野 敦之 著（薬事日報社）

『OTC薬ガイドブック 第3版』堀 美智子 監修（じほう）

『保険薬局業務指針（2012年版）』日本薬剤師会 編（薬事日報社）

『薬事法規・制度及び倫理解説（2013-14年版）』薬事衛生研究会 編集（薬事日報社）

『図解 医薬品情報学 改訂3版』折井 孝男 編集（南山堂）